

地域交流だより

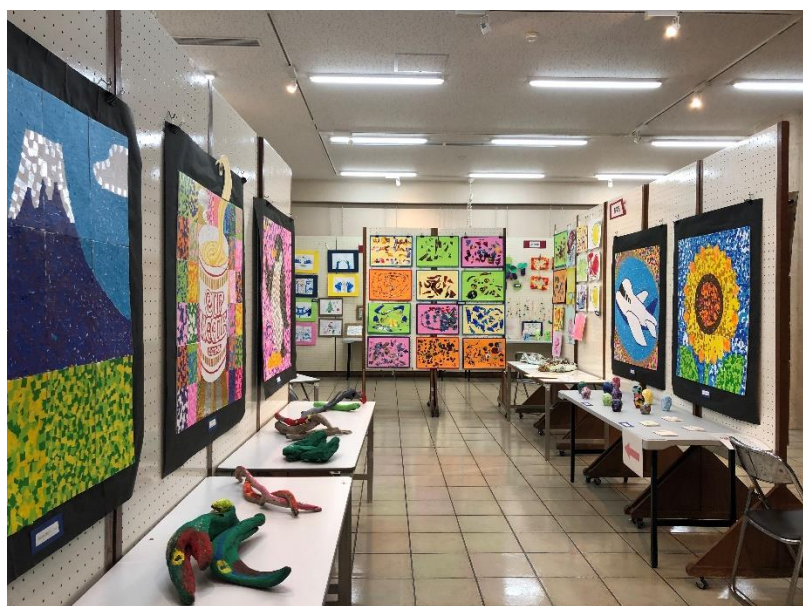
～作品展報告号～

2021.2.10 地域交流係

令和3年1月30日(土)、31日(日)に、ひらつか市民プラザにて、「湘南養護学校40周年記念作品展」が開催されました。緊急事態宣言下とあって、密にならない順路の工夫や検温、消毒の徹底といった今時らしい会場づくりの中、小中高合わせて約100点の作品が展示されました。当日は、児童生徒の家族をはじめ、卒業生とその家族、福祉事業所や企業の方々、近隣学校の先生、本校に以前勤務されていた方、そしてご近所の方など、総勢約220名の地域の方々に足を運んでいただきました。40周年記念の取り組みとしては、記念ソング「きみのえがお」をBGMに、「ありがとう湘南40」のメッセージボード掲示、そして記念ファイルが配布されました。

また今年は、例年のFM湘南ナパサだけでなく、平塚市の「地域情報局」ホームページ、さらにタウンニュースにも事前に取り上げていただいたことも、より広くお知らせが届いたきっかけとなりました。当日はケーブルテレビによる取材もあり、後日放送されることにもなりました。

展示の様子とともに、観覧者の感想のなかから一部をご紹介します。



「高等部になったら、こんな作品が作れるようになるのかなあ」と思いをはせている小学部の保護者の方がいらっしゃいました。小、中、高、と作品の雰囲気が変わっていくさまを感じることができるとも、学校作品展の良さですね。高等部の作品が素晴らしい！との感想、たくさんいただきました。

「お皿や織物など、販売の機会はありませんか?」、「このお皿、欲しい!」といった声を多く聞きました。例年ならば学習発表会の中で販売していて、今年度はその機会をもてなかったことをお伝えすると、とても残念そうでした。





わが子の作品はどれかな…こういう動きが得意だからこれかな、こんな色が好きそうだからこれかもしれない、など一つひとつ丁寧に見ているご家族の姿がとても印象的でした。

感想からは、「いろいろな作品があって楽しめた」、「明るい色使いが良かった」、「素晴らしい作品にパワーをもらった」など、あたたかいメッセージをたくさんいただきました。

おもやぶどう、
人気でした！
また季節感あふれる作品に、作っている時のたのしい雰囲気、一生懸命さが目に浮かびます、という感想もありました。



平塚二葉会さん（岡崎にある、卒業生が通っている事業所です）より、手作りタペストリーをいただきました。作品展終了後は校長室に飾られる予定です。



児童生徒、保護者、職員、当日ご来場の方、総勢約400名ほどの気持ちが集まった「ありがとう湘南40」です。「自分のはどれかな〜」と、みなさん一生懸命探していらっしゃいました。「ありがとう」の題字は、高等部1年生の生徒が書きました。

